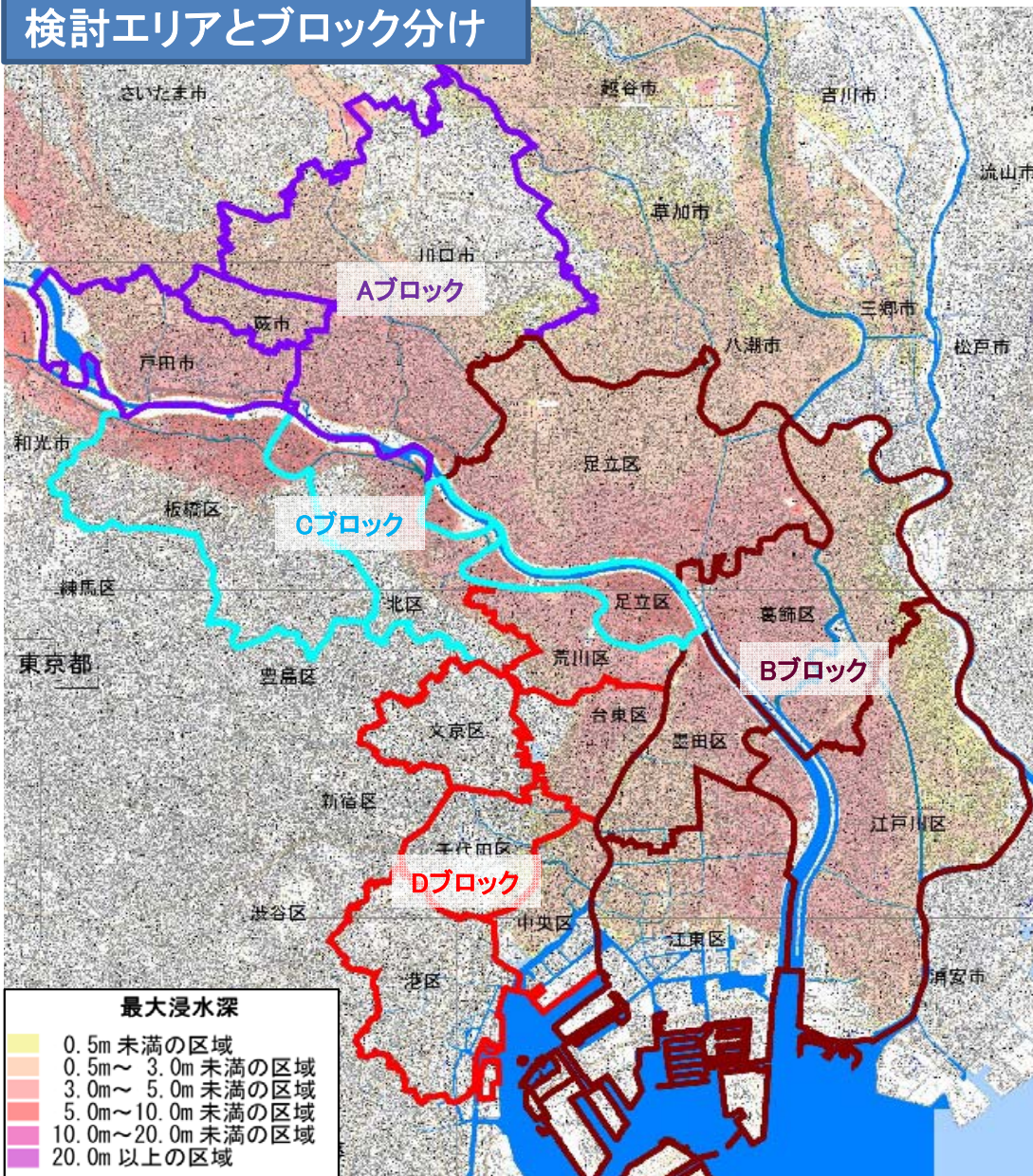


荒川下流タイムライン(拡大試行版)の策定に向けて

○荒川下流部の関係市区全てを対象としたタイムライン拡大試行版の策定に向け、
地域特性や氾濫特性が類似する4つのブロックに分けて検討を開始

検討エリアとブロック分け



荒川下流タイムライン検討会

- ・H26年8月から、北・板橋・足立区をモデルエリアとして検討を開始
- ・H27年5月に試行案を作成・運用
- ・H28年3月に試行版を作成・運用

荒川水系(東京都)大規模氾濫に関する減災対策協議会 タイムライン専門部会

- ・H28年9月から、荒川下流域全てのエリアで検討を開始

Aブロック (川口市、蕨市、戸田市)	○荒川下流区間だけでなく、上流区間からの氾濫も考慮して検討
Bブロック (足立区(荒川左岸)、葛飾区、江戸川区、墨田区、江東区)	○H28年8月に公表された「江東5区大規模水害避難等対応方針」((江東5区大規模水害対策協議会)を踏まえて検討
Cブロック (北区、板橋区、足立区(荒川右岸))	○試行版の運用結果を踏まえ、改良に向けた検討
Dブロック (千代田区、中央区、港区、文京区、台東区、荒川区)	○他ブロックと比較して、荒川からの氾濫水の到達に時間がかかることを考慮して検討

各ブロックの荒川下流タイムライン(試行版)の整理【H29年3月】

荒川下流タイムライン(拡大試行版)の策定【H29年度出水期まで】